

## CONTENTS

- 1. 第55回定時総会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2. 第177回理事会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3. 第55回定時総会后懇親会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 4. ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 5. 第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 6. お知らせ・・・5

### 1. 第55回定時総会開催

【2024年6月7日（金）、14：30～ 日本工業倶楽部】

工業会の第55回定時総会を、日本工業倶楽部4階第4会議室で開催し、下記の議案を審議・報告しました。

当日はご来賓として経済産業省 産業機械課 國府田勝行課長補佐にご臨席いただき、議事の最後に直近の政策課題についてご説明をいただきました。

また、定時総会に先立ち、正副会長会議を開催し、定時総会の議案等について検討しました。



内梨会長

#### <第55回定時総会>

|                         |                                    |
|-------------------------|------------------------------------|
| 議題1. 2023年度事業報告について【審議】 | 議題5. JIAM 展について【報告】                |
| 議題2. 2023年度決算報告について【審議】 | 議題6. 共通基盤ネットワーク研究会について（戦略策定事業）【報告】 |
| 議題3. 2024年度事業計画について【審議】 | 議題7. 若手社員向け研修について【報告】              |
| 議題4. 2024年度収支予算について【審議】 | 議題8. 今後のスケジュールについて【報告】             |



今後の主要な行事等は以下のとおりです。

| 会議・行事等       | 日時・場所  | 議題 他  |
|--------------|--|---|
| 正副会長会議       | 2024年10月11日(金)<br>12:45～14:45<br>ホテルグランヴィア大阪 | ①第178回理事会の審議・報告事項<br>②第11回臨時総会について 他  |
| 第11回臨時総会     | 2024年10月11日(金)<br>15:00～16:30<br>ホテルグランヴィア大阪 | ①役員を選任について 他  |
| 第178回理事会     | 2024年10月11日(金)<br>15:00～16:30<br>ホテルグランヴィア大阪 | ①2024年度上期の事業概要について<br>②2024年度下期の事業について<br>③JIAM展について 他                        |
| 正副会長会議       | 2025年1月16日(木)<br>11:30～13:00<br>日本工業倶楽部      | ①2024年度予算執行状況について<br>②2025年度予算と会費徴収額について<br>③第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて 他 |
| 2025年新年賀詞交歓会 | 2025年1月16日(木)<br>13:30～15:00<br>日本工業倶楽部      | ①新年賀詞交歓会  |

変更する場合があります

## 2. 第177回理事会開催

2024年6月7日(金)、16時30分から第177回理事会を開催し、議案を審議しました。定時総会に引き続き、経済産業省 産業機械課 國府田勝行課長補佐にご臨席いただきました。

理事総数15名に対し11名出席の過半数となり、理事会は成立し、議案を審議し承認可決しました。議題は以下のとおりです。

**議題1. 第11回臨時総会開催について**

## 3. 第55回定時総会後懇親会開催

第55回定時総会後に懇親会を開催し、総勢58名の出席があり盛大に執り行われました。

### 【内梨会長 挨拶】

#### はじめに

本日、2024年度の定時総会及び理事会において、全ての審議事項が承認されました。今年度の事業運営についても引き続き、皆様からのご支援・ご鞭撻の程、よろしく願い致します。大変お忙しい中、日頃よりご指導・ご支援いただいております経済産業省をはじめ業界団体の皆様に多数ご出席いただき、懇親会を開催することができました。誠にありがとうございます。

#### 1. 経済状況について

景気概況ですが、4月発表のIMF報告によれば、2024年の世界GDPの成長率は3.2%と昨年度と同レベルです。米国経済は堅調で、今後徐々に回復することが期待されています。今後とも中国不動産関連の動向や欧米諸国と中国・ロシア間のサプライチェーンの影響等に注視する必要があります。

我が国の景気は、雇用・所得環境の改善と企業収益の改善による設備投資の増加により、上向きが期待されております。直近の政府の景気判断が「足踏みも見られるが緩やかに回復している」ということで、政府による省人化・デジタル化、半導体や脱炭素への対応に期待しております。

最近の縫製機械業界は、熟練工の高齢化や退職等での技術的な不足、作業員不足や人件費の高騰、生産方式の少量多品種生産への移行、SDGsを受けた大量生産・廃棄型モデルからの転換の4つの課題に直面しております。このような環境変化を受け、当業界はデジタルデータの活用や工程を跨ぐ機械間の情報の連携＝コネクテッドによる熟練者技能の代替や柔軟な生産体制の構築、機械単体だけではなくライン全体の生産性を上げる機械の開発が更に重要になっております。

工業会としては、今後とも、生成AIなどの急激な技術革新や自動化・ロボット化・IoT化などデジタル・ネットワーク技術へ対応するため、引き続き積極的に情報収集するとともに、脱炭素社会への対応も視野に業界の発展に貢献していく所存です。

## 2. 当工業会の事業について

### ・「共通基盤ネットワーク研究会」の取り組みについて

昨年度実施しました「縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定事業」の結果を受けて、「共通フォーマット」の活用に向け新たにWGを立ち上げ、データ活用策の実施を中心に引き続き進めてまいる所存です。

この事業の成果発表会を6月18日に予定しておりますので、多くの関係者の方々のご参加をお願い致します。このような情報共有の場が、更なる研究・開発の推進につながることを願っています。

### ・「JIAM 2024 OSAKA」について

開催日：2024年11月27日(水)～30日(土)

会場：インテックス大阪

名称：「国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市」

テーマ：JIAM からつながる…

～次世代技術と匠の技のコラボレーション2024～

前回の**2022 OSAKA**から2年後の今回の展示会では、出展小間数が前回の899を上回る906(2024年5月27日時点見込み)となり、その内訳は国内が794(前回：817)、海外が112(前回：

82)となっています。

今後は、11月の開催に向け、来場者誘致活動を加速してまいります。国内外の最新機器が一同に集まる**JIAM 2024 OSAKA**へご来場の程お願い申し上げます。

### ・家庭用ミシン事業について

今年度の第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについては、作品募集を開始しております。前回同様、全応募作品を対象に「SDGs特別賞」を設けました。また、新たに、小学生を対象として「ミシンダイアリー部門」を新設しました。この部門では、当工業会HPの「ミシン手作りダイアリー」に掲載されている作品のレピを活用して製作する作品が対象となります。関係各位におかれましては、引き続き作品募集にご支援・ご協力をお願いいたします。

また、家庭用ミシンの普及として、経済産業省こどもデーやホビーショーにおいて、ミシンを使ったモノ作りの体験学習を実施しております。このようなソーイングに関するイベント情報などを積極的に発信してまいりますので、ご活用ください。

主な工業会事業について、紹介いたしました。事業を進める上で、最も大事なことは会員相互のコミュニケーションであります。改めて、政府、関係団体との連携を密に図り、工業会が一つになって事業を進めていくことが重要と思っております。

## 【経済産業省 安田 篤課長 ご挨拶】

ご紹介にあずかりました経済産業省 産業機械課 安田でございます。日本縫製機械工業会様の懇親会にお招きいただきましてありがとうございます。ご挨拶させていただきます。

まず、政府が力を入れていることとして、賃上げと国内投資の促進というテーマがございます。それに向けて、賃上げについては税制を設けた他、国内投資についてはDX・GXを加速するという流れの中、国内投資をサポートするという取組みを進めております。こうした中で日本縫製機械業会様との関係では、特にDXとの関係が深いかと思っており、縫製機械をいかに労働集約型で自動化していくかが課題であると思っており、多品種少量生産をいかに機械化していくかというところのニーズとしては非常に高いのだらうと思っております。そうしたDXの流れで、中小企業の省力化投資を後押しする政策、具体的には補助金などを用意して、連携させていただければと考えています。

これまで、日本縫製機械工業会が大変に力を入れている取組みのホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの表彰式は、ここ3年間はコロナ禍でオンライン開催が続きました。私自身、今年3月に初めて会場で受賞者の皆様にお目にかかることができました。若い方々が生き生きと表彰状を受け取っていたのが、非常に印象に残っています。また会場に縫製機械(ミシン)で製作した芸術的と思えるような作品が展示をされておりました。こうした新たな人材育成、更に心から縫製機械業界に関心を持っていただくというのは、非常に重要なものだと思います。是非、今後も続けていただければ大変ありがたいと思います。

今年の11月には**JIAM**が開催されると伺っております。現在のタイミングで多くの展示会が開催されていますが、明らかに昨年よりインバウンドの方々が増えて、来場者が増加しております。このままの状況で、この11月には、更にインバウンドの方々が来場されるの

ではないかと期待しております。是非、皆様方の最新の製品やビジネスソリューションを展示していただき、グローバルに日本の縫製機械の技術を発信していただければ、大変幸いです。

2点だけ告知をさせていただきます。1点目は、福島との復興関係で、アルプス処理水を昨年8月から安全性を確認した上で、大量放出が始まりました。三陸常磐で獲れる水産物の消費がなかなか拡大をしないという状況でございます。ぜひ皆様、インターネットで「三陸・常磐ものネットワーク」というキーワードで検索していただければと思います。1, 100を超える事業者の方々に、三陸常磐産の水産物をお弁当や社食で消費いただくと

いうご協力をいただいています。こうした取り組みにご理解賜りますと幸いです。

そして2点目、来年4月に大阪関西万博の開催となっております。ぜひ万博の気運を皆様と一緒に盛り上げていきたいと考えておりますので、来年には会場に足をお運びいただければ大変幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、日本縫製機械工業会様及び会員企業の皆様のご発展と、本日ご列席の皆様方のご健勝を祈念しまして、私からのお祝いの挨拶とさせていただきます。



経済産業省 安田篤 課長



#### 4. ソーイング体験コーナーで家庭用ミシン利用普及をPR

##### ー2024日本ホビーショーへの出展ー

家庭用ミシンに親しむ場を提供することにより、ホームソーイングの普及促進を図る目的で、2024日本ホビーショーにJASMAブースを出展しました。4月25日(木)～4月27日(土)の3日間、東京ビッグサイトで開催され、多くの来場者が訪れ大盛況の中行われました。

JASMAブースでは、第44回ホームソーイング

小・中・高校生作品コンクールの経済産業大臣賞受賞作品(5点)を展示するとともに、表彰式の様子をビデオで放映しました。更に、ソーイング体験コーナーでは、家庭用ミシンメーカー4社による「カトラリーケース」の製作体験を行い、3日間で81名の参加がありました。女性を中心とした多くのホビー愛好家が訪れ、JASMAブースでは幅広い年代の方々にミシンを体験していただきました。



## 5. 第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象とした「第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品を募集しています。詳細につきましては、当工業会のホームページをご覧ください。

URL : <https://jasma.or.jp/sakuhin.html>

### 1. 応募部門

- ①小学生の部（4・5・6年生）
  - ・新設部門 「ミシンダイアリー部門」  
当工業会ホームページの「ミシン手作りダイアリー」(<https://jasma.or.jp/diary.html>)に掲載されているレシピを使って作った作品を対象とします。
  - ・作品の種類による部門は設けません。中・高校生の部で設けている全ての作品を含みます。
- ②中学生の部及び高校生の部
  - 1)小物・インテリア作品部門
  - 2)衣服作品部門
  - 3)リメイク・デコ作品部門
  - 4)アニメ・ゲームコスチューム作品部門

### 2. 応募方法等

応募作品、応募方法等については、ホームページに掲載の応募要領をご覧ください。

URL : <https://jasma.or.jp/sakuhin.html>

### 3. 締切

2024年10月31日（木）

### 4. 応募先・お問い合わせ先

一般社団法人日本縫製機械工業会  
「第45回作品コンクール」係

URL : <https://jasma.or.jp>

E-mail : [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

## 6. お知らせ

### ●経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

当工業会担当課の課長が、異動となりました。（敬称略）

7月1日付

（新）

（旧）

安田 篤 イノベーション・環境局 総務課長

製造産業局 産業機械課長

須賀 千鶴 製造産業局 産業機械課長  
兼同局 総務課製造産業  
DX政策企画調整官

商務情報政策局 情報経済課長  
兼同課デジタル取引環境整備室長

## 編集後記

今年は大谷選手の大活躍で弾みがつき、この夏季にはフランスオリンピックが開催、選手たちから多くのエネルギーをもらう日々が続いております。思い起こせば3年前の東京オリンピックはコロナとの闘いもあり、人生観さえも変えてしまう出来事でした。現在も国際的な環境変化、紛争と様々な問題を抱える今日ではありますが、オリンピックがもたらすスポーツマンシップ、平和につながる精神を日常生活の励みにしていきたいものです。

さて、本会報において **JIAM** 関連記事を記載することが増しており、いよいよ11月開催、オリンピックでの寝不足管理、増加しているコロナ感染を制御しつつ、オリンピックの勢いで **JIAM** も記念に残る開催にして参りましょう。

(K.M)

## JASMA 会報

Vol.21 No.2 2024年8月6日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者:湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第二松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)